

実践のまとめ(第3学年 国語科)

令和3年10月15日第5校時

指導者 南魚沼市立大和中学校

教諭 新保 かおり

1 研究テーマ

語感を磨き、自分の考えを的確に表現する力の育成

2 研究テーマについて

(1) 研究テーマ設定の意図

新学習指導要領(平成29年告示)解説において、全国学力・学習状況調査等の結果によると「中学校では、伝えたい内容や自分の考えについて根拠を明確にして書いたり話したりすることなどに課題がある」と記されている。本校でも、NRT学力検査等の結果において「B書くこと」に課題があることが分かる。実際、作文活動などの表現活動に苦手意識をもつ生徒が多く、その理由を「何て書いていいのかわからない」と答えた生徒が多かった。そのような生徒に教師が、言葉を補ったり言い換えたりすることで生徒が納得して活動を進められることがある。このことから語彙を豊かにし、自分の考えを的確に表現できる力が必要だと考える。

自分の考えを的確に表現するために、「自分の考えを表現するため最もふさわしい言葉を吟味する」とことと、「相手に応じて自分の考えが最も伝わる表現をする」必要がある。自分の中で言葉を比較したり、仲間とともに語句が持つ意味や語感の差異を確認したりすることが必要であると考えます。

(2) 研究テーマに迫るために

① 語彙を豊かにするための、思考ツールの活用

語彙を豊かにするとは、語彙の量と質を充実させることである。語彙力とは、語句を学ぶだけではなく、具体的に言語活動の中で相手、目的や意図、場面や状況などに応じて、どの言葉を選んで表現するのが適切であるか判断したり、言葉が醸し出す味わいを感覚的に捉えたりすることができる力のことである。判断の基準や感覚的な味わいを視覚化するため、思考ツール(ピラミッドチャート)を用いる。

② 対話的な学びを生み出す活動の設定

語彙を豊かにするために、仲間の語彙に対する感覚と比較し、自分の中の言語感覚を研ぎ澄ましていくことが必要である。「判断の基準や感覚的な味わい」が可視化されたものを元に、比較・対比しながら学びが深まることを期待する。

(3) 研究テーマにかかわる評価

① 生徒の振り返りシートの記述から、語句に対する知識が増えたかどうか、言葉の味わいやその面白さを感じることができたかどうかをはかる。【生徒の80%以上到達】

② ワークシートや観察などから、学習前後の作品の変化の理由を、自分の言葉で説明できている。【生徒の80%到達】

3 単元と指導計画

(1) 単元名 ものの見方・感性を培う

俳句の世界・俳句十句(現代の国語3 三省堂)

(2) 単元の目標

- ・具体と抽象など情報と情報の関係について理解を深めることができる。【知識及び技能(2)ア】
- ・表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫できる。【思考力、判断力、表現力等Bウ】
- ・文章を読んで考えを広げたり深めたりして、自分の意見をもつことができる。【思考力、判断力、表現力等Cエ】
- ・言葉が持つ価値を認識するとともに、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。【学びに向かう力、人間性等】

(3) 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①情報と情報の関係について理解を深めている。【(2)ア】	①『書くこと』において自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫している。【Bウ】 ②『読むこと』において考えを広げたり深めたりして、自分の意見を書いている。【Cエ】	①言葉が持つ価値を認識し、自分の思いや考えを伝え合おうとしている。【主】

(4) 単元の指導計画と評価計画 (全5時間、本時4/5時間)

次(時数)	学習内容	学習活動	主な評価規準と方法 (評価方法は【 】内で記述する。)
1 (2)	○学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 ・俳句のきまりや表現の特徴をもとに、俳句についての理解を深める。 ・「俳句の世界」を読み、俳句の特徴を書き出す。 ・「俳句十句」について、情景を想像しながら音読する。	◎俳句の特徴とはなんだろう。 ・俳句の基礎知識をまとめる。 ◎作者が伝えたいことはなんだろう。 ・俳句の内容を理解する。	※次時で一緒に評価する
2 (2) 本時	・ショートストーリーから俳句を創作する。 ・俳句の空欄にあてはまる適切な言葉を探す。 ・思考ツールを用いて、選んだ語句を吟味する。	◎イメージから言葉を探そう。 ◎最も相応しい表現を探そう。	知・技 ①情報と情報の関係について理解を深めている。【行動観察・ワークシートの記述確認】 主 ①言葉が持つ価値を認識し、自分の思いや考えを伝え合おうとしている。【行動観察・ワークシートの記述確認】
3 (1)	・自分の作品を比較して、変化とその理由を説明する。 ・どう変化したのか、	◎どうして変化したのか説明しよう。 ・掲示するための用紙	思・判・表 ②読むことにおいて、考えを広げたり深めたりして、自分の意見を書いている。【ワークシート記述確認】

	なぜ変化したのか、どちらがよりどうなのか、自分の言葉で説明する。	に作品を記入する。	
--	----------------------------------	-----------	--

4 単元と生徒

語彙を豊かにし、自分の考えを的確に表現することで、国語だけでなく全ての教科における言語活動の基盤を作ることができると思う。生徒の実態として、誰とでも温かく関わることができ、班活動が活発に行えたり発言や挙手を積極的に行えたりする。一方で、そのような生徒は固定化しており、思いはあるものの仲間の前で自分の言葉で何と表現しているのか分からない生徒がいる。理解し使用できる語句の量を増やし、自分の考えを的確に表現するための言葉を選ぶ「判断基準」が養われれば、各教科でさらに活発に意見が出て、学びが深まるのではないかと考える。

また、昨年度「短歌」の学習において、短歌に用いられた言葉や語感などを踏まえショートストーリーを創作した。短歌の内容だけでなく、単語の持つ様々な情報からイメージを膨らませ、自分の体験や思いを交えながら作ることができた。本単元では、ショートストーリーから、意味やイメージ、感覚を研ぎ済ませ「十七音の中のふさわしい五音」を導き出す活動を取り入れる。言葉に対する認識を深めながら、言葉の面白さや美しさなど日本語の良さを味わい、言葉を大切にできる生徒の育成を目指したい。

5 本時の展開

(1) ねらい

- ・なぜその言葉を選んだのか理由を明確にし、仲間に伝えようとする。【主】
- ・最も良い表現を探す中で、言葉に対する理解や認識を深めることができる。【知・技①】

(2) 展開の構想

生徒自身が前時まで選んだ言葉を、準備した五つの五音のいずれかと比較をする。言葉を選ぶ基準を生徒自身が認識をし、また話し合いやアドバイスの視点を作る。辞書や仲間の語感や考えと比較し、自分の考えを再構築し一番納得できる表現を探す中で、言葉に対する認識や理解を深め、表現の魅力や奥深さを味わわせたい。

- ・「自分の考えを最も表現できる五音を選ぶ」
 - ・「自分の考えが最も伝わる五音を選ぶ」
- 二つの観点から、吟味することとする。

活動について1
①既存の俳句を元にしたショートストーリーを読んで当てはまる五音を考える

父のおにぎり

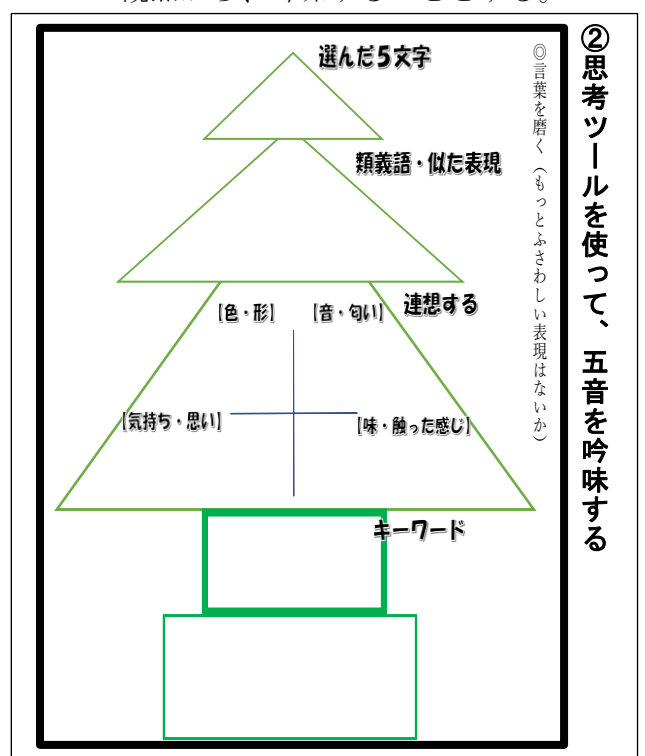
不器用な

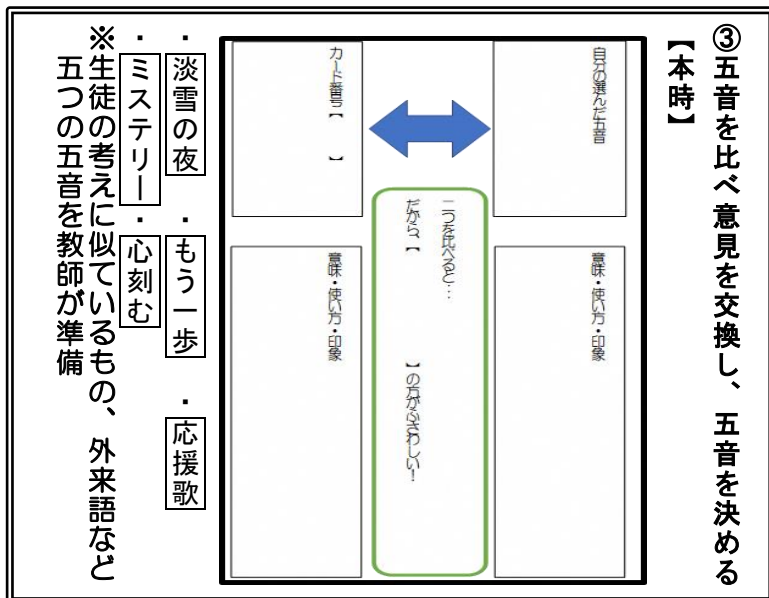
受験前

ショートストーリー

私は、最近父と口をきいていない。特に話すことがないからだ。(中略) 明日は、受験前最後のテスト。部屋の外でゴトツという音がした。その扉を開いてみると、それはおにぎりだ。ちやうど丸のよう。重く固い。もう一つだけ勉強をがんばろうと思った。(教師作成)

自分がふさわしいと思う五音を選び、辞書やインターネット等で意味や使い方など検索をする。





(3) 展開

時間 (分)	・ 学習活動	○教師の働き掛け ●予想される生徒の反応	□評価 ○支援 ◇留意点
5	・ 前時までの流れと、本時の流れを確認する。	○ねらいの確認 問「熱い」「あつつい」 「熱々」どれが一番熱い？ ●答えがばらつく 意味や使い方、認識の差がある 自分の考えや思いを的確に表現・伝えるために、言葉を自分や仲間と吟味することの重要性	前時までに自分が「最も良いと思う表現」が決まっていること。 カードがあること。 ○PowerPoint画面を黒板に投影
15	・ 五枚のうちいずれか一枚の五音と自分の言葉を比べる	五枚のカード ・ 淡雪の夜 ・ もう一步 ・ 応援歌 ・ ミステリー ・ 心刻む ※その他もあり ○比べる五音を選ぶ。 それぞれ辞書で意味や用法を調べる。二つを比較し、よりふさわしい方を選ぶ。	◇「この中に答えがあるかもしれないし、ないかもしれない」ことを伝え、生徒全て五音に流れないようにする。 ◇全員に辞書を配付 ・ 個人で作業
15	・ 考えの発表と、アドバイスカードの記入	話し合い ・ 自分が最も伝えたいこと ・ 二つを比較して、なぜそちらを選んだのかを発表。 その後、班の仲間から「自分だったらこの言葉を入れる」という意見をカードに書いて伝え合う。(1人5分×4、5人) ●「○○に共感できるから、このままがいい」「○○という雰囲気を大事にしたいなら○○もいいと思う」	主① 言葉が持つ価値を認識し、自分の思いや考えを伝え合おうとしている。【行動観察・アドバイスカードの記述確認】
5	・ 仲間の意見を参考に、再度自分の考えをまとめる。	再構築する ・ 自分の考えを変えるべきかどうか。 ・ 変えるのなら、何がいいのか。	知・技① 言葉やその情報、関係について理解を深めている。 【行動観察・ワークシート】

5	・生徒の思考を振り返り、学びを位置づける。	○代表生徒の発表 どのような考えや思考で、その結論に至ったのかを全体でまとめ共有する。	◇代表生徒数名の作品を取り上げ、確かな学びを位置づける。 ※2・3人
5	・振り返りと自己評価をする。 次時の活動を確認する。	・空欄に本来当てはまる言葉を発表する。 ・まとめを行う。	

(4) 評価

- ・自分の考えを仲間に積極的に伝えようとしていたか。また、仲間の考えに自分の意見を述べていたか。【主①】
- ・仲間の意見や辞書の情報を元に、自分の表現を吟味していたか。【知・技①】

5 実践を振り返って

(1) 授業の実際(指導の実際)

2次-1

ストーリーから俳句の最初の五音を導き出す活動では、自分の認識している語句からふさわしい言葉を選ばずに困っていた生徒が多い。語彙の量そのものが少ないこと、また、意識して言葉を選ぶという思考活動そのものをあまりしていないという実態が見えた。思考ツールを用いて、さまざまな情報を整理し徐々に五音に収束した。思考ツールはアイデアを出し、思考を整理し考えをまとめる作業に適していると共に、思考の過程が見えることで振り返りができる点でも有効であった。

2次-2

思考ツールを用いて導き出した五音と、こちらが用意した五音を比較する活動を行った結果、「元の五音と変わらない生徒：52%」「新しい五音に変えた生徒：48%」となった。思考ツールで導いた最初の五音が納得したものになっていた生徒が多い。

感覚的な「なんとなくいい」を自分の言葉で説明するためにも、有効であった。

<p>【私の結論】 選んだ五文字 最初：「温もり」 ↓ 最後：「寄り添って」</p> <p>選んだ理由：父の（気持）を伝えるために：父の行動や気持が娘に寄り添って思うから</p>	<p>【私の結論】 選んだ五文字 最初：「はたらくな」 ↓ 最後：「ミステリー」</p> <p>選んだ理由：父の（不器用さ）を伝えるために：お母を伝えるお父さんで、（それかおもしろい）、この（ミステリー）と（おもしろく表現して）、（この二句を）おもしろい</p>	<p>【私の結論】 選んだ五文字 最初：「買ひさばよ」 ↓ 最後：「買ひさばよ」</p> <p>選んだ理由：父の（表には）を伝えるために：買ひさばよの方が父親の愛が大きい（思）が（おもしろい）という友達意見は（失）感した。この言葉には（娘が）愛に買ひさばよに（静かな）強く見守る願う（様子）が（秘）ひさばよから。</p>
---	--	--

生徒のまとめ

(2) 研究テーマに関わって

研究テーマに関する評価は以下のとおりである。(表1)

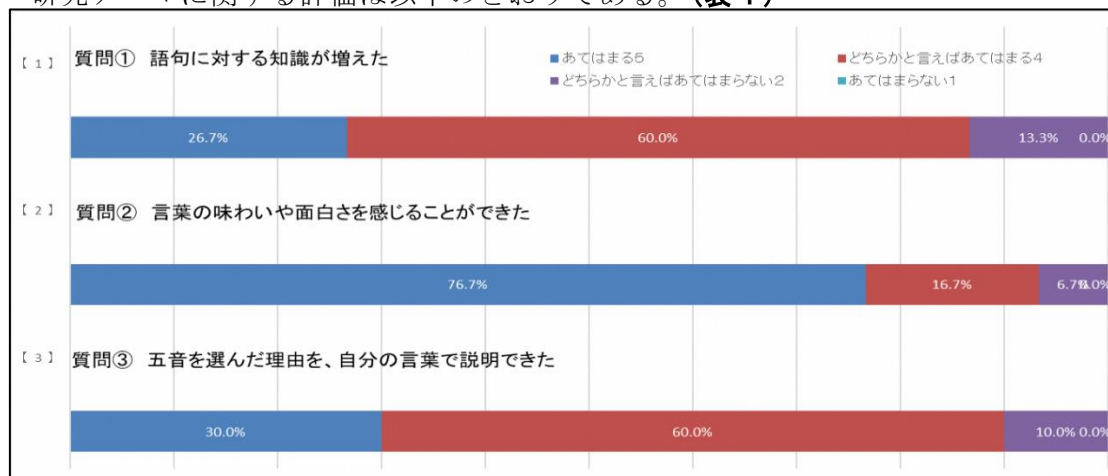


表1

質問①、②、③ともに肯定的意見が90.0%以上の結果となった。全ての項目で「1：当てはまらない」と答えた生徒はいなかった。

生徒感想・振り返りコメント

- ・納得する言葉が見つかった時は、登場人物の心情が想像できて楽しかった。
- ・言葉を使うときは、その意味をしっかりと理解して使うべきだと思った。
- ・良い表現がたくさんあって選ぶのが難しかった。言葉によって伝わり方や雰囲気などが違っていておもしろいなと思った。
- ・たった五文字にこんなに悩むと思わなかった。
- ・正解じゃなくても良い言葉がたくさんあった。自分の五音が一番良いと思った。

(3) 今後の課題

① 「語感を磨くこと」「語彙力を高めること」

アンケートから語句に対する新しい気付きや深い味わいを得ることができ、「語感」を深めることができた様子が見えてきた。生徒自身も概ねねらいを達成できたと感じているようだ。しかし、語感の深まりと語彙力の向上には隔たりがあると考え、「言葉」に対する感覚的なものをより意識的に言語化していく必要がある。

そのために、普段の言語活動の中で、メタ認知を促す授業や活動をさらに取り入れていくことが重要である。授業の中で、教師による学びの位置付けを丁寧に行うことが大切だと考える。

② 継続的な指導の在り方

生徒は、語句を「意図して」使う機会がとても少ないということが分かった。少ない語彙数では、仲間と関わる際に摩擦も生まれてくる。今後さらに授業の中で、語句を意図して使う場面を多く設けていく必要がある。意味調べなどの「知識」を蓄える場面。作文活動などの「思考力」「表現力」を養う場面を、単元計画の中で確実に設定したい。さらに、意味調べなどの単純な活動にとどまらず、様々な取り組みや活動からアプローチしていく必要を感じた。

<参考・引用文献>

伊藤園おーいお茶新俳句大賞（第三十回）都道府県賞より

<https://itoen-shinhaiku.jp/archive/30/todou/?p=2>